

平成 24 年度第 2 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 24 年 11 月 19 日 (月) 午後 1 時 30 分から
 場 所 日進市役所本庁舎 2 階第 4 会議室
 出 席 者 小塚みね子 (委員)、石川和美 (委員)、鈴木義尊 (委員)、松岡坂重 (委員)、
 三輪洋子 (委員)、水野利子 (委員)、竹下啓 (代理出席)、大竹弘真 (委員)、
 松本幸正 (会長)、仲龍典 (副会長)、長崎三千男 (委員)、加藤直樹 (委員)、
 小林宏 (委員)、西尾和晴 (代理出席)、林由紀夫 (委員)、加納祐司 (委員)、
 柴山卓也 (代理出席)、青山雅道 (代理出席)、伊藤孝明 (委員)
 欠 席 者 武田敏弘 (委員)、都築基雄 (副会長)、永山明光 (委員)

事 務 局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり (3 名)
 報 告 事 項 (1) 生活交通部会の報告について
 議 題 (1) くるりんばすの見直し案について
 ア 年末年始の運行について
 イ 高齢者定期券の期間延長について

そ の 他

発 言 者	発 言 要 旨
	1 開会
事 務 局	あいさつ (生活安全課長)
会 長	傍聴者が 3 名お見えになりますが許可してよろしいでしょうか。 (異議なし)
会 長	それでは、入室してください。 (傍聴者入室)
	2 会長あいさつ
会 長	前回の第 1 回は 10 月 4 日でした。まだ 1 か月弱しか経っておりません。時間を 空けずの開催となりましたが、皆様ご出席ありがとうございます。 前回の会議では、これまでに寄せられた意見、調査結果などを元に、くるりん ばすの見直しをどのように行っていくかについて、忌憚のないご意見をいただき ました。それを受けて、先月 19 日に開催された生活交通部会で、具体的な議論を いただきました。本日は、その議論によりまとまりました方向性についてご議論 をお願いする形になります。特に、すぐできるものはすぐに行う、ということで、 市民の皆様が必要としているものについては、早急に実施に繋げたい、というこ とから、間を空けることのない開催となりました。ぜひともご協力をお願いいた します。
事 務 局	それでは、会長に議事進行をお渡しします。
会 長	議事録署名者を順番により指名します。今回は竹下委員と仲委員、お願いしま

発 言 者	発 言 要 旨
	す。
(報告事項)	(1) 生活交通部会の報告について
会 長	報告事項の(1)生活交通部会の報告について、仲部会長よりご報告いただきます。
部 会 長	<p>先日行われました生活交通部会での議論について報告いたします。</p> <p>詳細につきましては、お手元にもございます議事録にもありますので、概要について報告させていただきます。</p> <p>前回の会議で示された5つの評価視点ごとの見直しの方向性にに基づき、事務局が提示した見直し案について検討を行いました。</p> <p>A 目標の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の移動や新規設置について検討しました。現行のダイヤに影響を与えない範囲であれば短期見直しで設置し、ダイヤに影響を与えるものは、ダイヤ見直しとあわせて中長期見直しにおいて検討することとしました。 ・バス停の廃止については、ダイヤに影響を与えないことを踏まえ、非常に降車数が少ないバス停などの存在について、税金でまかなわれているくるりんばすの効率的な運行の必要を指摘しました。 <p>B 利用者数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期券の期限を延長し、利便性の向上を図ることを提案しました。実施に当たっては短期見直しで対応とし、十分な周知を行うことを提案しました。 ・定期券の値段を下げることで利用者を増やすことを検討しました。利用者の増加をめざすためには、まず利便性の向上が必要であるとの意見がありました。 ・定期券の値段を下げるとした場合、料金制度の大きな変更該当するため、今後の検討課題とすることとしました。 <p>C 満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物や通院を支えるため年末年始の運行を提案しました。その際、全ての便の運行の必要がないこと、通勤通学の利用は少ないことについて考慮するように提案しました。 <p>D 乗継利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のコミュニティバス、民間路線バス、鉄道も含んだ、分かり易い路線図・時刻表乗り継ぎ案内を作成することを提案しました。 ・作成にあたっては、平日、土休日が別ページになっていて見にくい点や、字の大きさを誰でも読みやすい大きさにする点について配慮を求めました。 <p>E 収益性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期券の値段や対象、必要な受益者負担といった料金体系について、中長期においては検討が必要であるという意見がありました。 ・収益性の向上のため、様々な有料広告の形態を検討することを提案しました。
会 長	報告ありがとうございました。ご意見・ご質問はございますか。
会 長	本日は、ただいまご報告いただいた内容を元に議論を進めたいと思います。特

発 言 者	発 言 要 旨
	に、短期で進めるべきとされた年末年始運行、定期券の期間延長について本日の議題としてまいりたいと考えています。
(議 題)	(1) くるりんばすの見直し案について ア 年末年始の運行について イ 高齢者定期券の期間延長について
会 長	それでは続きまして、議題(1)ア、イについて、関連がありますので一括してご説明をお願いいたします。
事 務 局	<p>資料の1ページをご覧ください。前回の会議の際に、これまでのくるりんばすの変化について年表形式でまとめたものをお示しいたしました。</p> <p>その次の段階として、現状のくるりんばすのサービスが、日進市の規模としてふさわしいものであるのかどうかを確認するため、県内の市町とサービス水準についての比較を行いました。</p> <p>資料1は、近隣市町、同人口規模、同利用者数、といった類似性を持った団体との比較を行うことにより、現在のサービス水準を明らかにしたものです。</p> <p>まず、(1)運行効率からみたくるりんばすの位置づけ、ですが、くるりんばすの運行経費は、平成23年度実績で約1億7千万円となっており、隣接市町や同人口規模の都市、安城市や小牧市といった10万人以上の都市と比較しても、最も高い金額となっています。</p> <p>ただし、くるりんばすの1便当り利用者数は、今回比較した10都市中4番目に高く、利用者1人当り運行経費は10都市中3番目に低い結果となっており、比較的効率の良い運行を行っているといえます。</p> <p>以上のことから、今後、本市が第5次総合計画に掲げた10万人都市を目指すなかで、今以上の運行経費の増額を望むことは難しく、現行の経費の範囲でサービス水準の維持向上を図っていく必要があるということがいえると思います。</p>
事 務 局	<p>続いて、資料の3ページをご覧ください。こちらは、以上の検証やこれまでの本会議での議論、先日開催されました生活交通部会での議論を踏まえて、事務局で作成した見直し案となっております。</p> <p>本見直し案としましては、まず、基本方針として、見直し案の考え方の方向性を示させていただきました。事務局へ寄せられたご意見ご要望を課題として捉え、各課題への対応という形で整理してあります。</p> <p>まず「バス停が近くに欲しい」「乗り換えずに目的地に着きたい」といった課題につきましては、「バス停の新規設置」をあげさせていただきました。ただし、前回の会議でも頻繁な変更は利用者の混乱を招くというご意見をいただいたことから、次年度に実施する上では、現行の8ルート11便の形態に影響を及ぼさない範囲で実施可能なものとさせていただくこととしました。</p> <p>しかし、中長期的にはルートダイヤの見直しは必要であり、これは土地区画整理事業の進展とあわせて実施していくものであり、その際には、・バス停の設置や廃止に一定の基準を設ける・利用実態に合わせた循環形態を見直す、などといっ</p>

発 言 者	発 言 要 旨
	<p>たことが必要と考えます。</p> <p>続いて「ダイヤが分かりにくい」「双方向のどちらに乗ってよいのか分からない」といった課題については「上手な使い方等、周知方法の工夫」が必要であり、現在ルートマップとダイヤ表が別々になっているものを一つにする中で施設情報や乗継情報などをあわせて掲載するものを作成することとしました。将来的には近隣のコミュニティバスとのダイヤ調整が必要と考えます。</p> <p>「年末年始も運行して欲しい」「バスが何時来るかわからない」といった課題については、「満足度向上に向けたサービスの向上」として、年末年始運行の可能性について運行事業者と協議を行い、本年度 2 日間の試行実施を行うこととしました。また、特に遅延の多い中コースについて、現在準備している新型バスロケーションシステムの実証実験を通じて遅延状況の把握を考えています。将来的には、バスロケーションシステムにより到着時間をお知らせできることが望ましいと考えます。</p> <p>「定期券の期間が短い」といった課題については、「高齢者定期券の期間延長」として、現在にぎわい交流館及びバス車内で 1 か月 1,000 円の定期券を販売していますが、にぎわい交流館限定で 3 か月定期券を販売してはと考えています。これも可能であれば 25 年 4 月からの実施を考えています。</p> <p>最後にその他の課題として事務局が課題として認識しています「運行経費の抑制」につきまして、将来的には料金形態の見直しや様々な有料広告の形態の検討が必要である、とさせていただきます。</p>
事 務 局	<p>以上の見直し案の中で、短期的に見てすぐに取り組めるものとして、2 点を挙げさせていただきます。</p> <p>まず、1 点目が議題の(ア) 年末年始の運行について、です。こちらの説明の前に、資料の 1 ページ、(2) 愛知県内市町村の年末年始の運行状況について、をご覧ください。</p> <p>愛知県内において、道路運送法 4 条、79 条または無償によりバスを運行している市町村は 49 団体ございます。そのうち、毎日運行かつ年末又は年始の運行を実施している市町村は 12 団体でした。これは、複数系統あるうち、1 系統でも年末年始の運行を実施している場合は「年末又は年始の運行を実施している市町村」として集計したものです。</p> <p>円グラフにも示したとおり、約 1/4 の市町村で年末年始に何らかの運行を行っていることとなります。</p> <p>実際に行っている内容について、表にまとめたものをご覧ください。こちらを見ますと、全ての路線で年末年始の 6 日間を全て運行している団体は、安城市、東海市、みよし市、南知多町の 4 団体となっています。それ以外の団体では、一部路線のみの運行であったり、年末のみの運行であったりという形でした。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	<p>資料の 4 ページをご覧ください。年末年始の運行については、これまでの経緯にあるように多くの要望がございました。これを受けて、事務局と運行事業者である名鉄バス株式会社との間で協議を行い、実施可能な内容について検討した結果、12月29日、30日の2日間、7コースに限定して、第3便、第4便、第6便、第7便、第8便、第9便の6便を試行運行、という形となりました。</p> <p>周知につきましては、広報12月15日号に折り込みチラシを入れさせていただく予定となっています。</p> <p>この案についてよろしければ、名鉄バス様、中部運輸局様とも調整させていただき、試行運行を実施したいと考えております。</p>
事 務 局	<p>最後に2点目、(イ)高齢者定期券の期間延長について、です。</p> <p>引き続き、資料の4ページをご覧ください。定期券の期間については、これまでの経緯にあるように要望がございました。</p> <p>事務局で検討した結果、現在定期券販売の取り扱いのある「にぎわい交流館」に限定することで、期間を延長した定期券の販売が可能ではないか、と考えました。</p>
会 長	<p>議題について、ご意見・ご質問はございますか。</p>
会 長	<p>それではまずは私から1つお聞きします。運行経費がかかるということは結果サービス水準が高いといえると思いますが、収入については他市町と比較してどのようなになっていますか。</p>
事 務 局	<p>2ページ目に比較表が用意してございます。この中に収入額及び収支率が記載してあります。</p>
会 長	<p>収支率で比較すれば、人口10万人以上の団体では17%、13.3%であり、本市の24.2%というのは、こうした点を考慮するともう少し良い位置づけといえるのではないのでしょうか。</p>
委 員	<p>先ほど年末に試行運転をされるということでしたが、これに伴う経費はどのようなになっていますか。</p>
事 務 局	<p>現在、運行事業者と調整中です。</p>
委 員	<p>費用が増大する分に関しては間違いないのですが、その分をどうするか、という点については色々な方法があると思います。現在協議中であります。</p>
委 員	<p>新型バスロケシステムとはどのようなものですか？</p>
事 務 局	<p>現在予定している実証実験は、市役所バス停にのみ表示機が置かれる形で、コースも中コースに限定して実施するものです。</p>
会 長	<p>今回のシステムは名城大学と共同で実施しているものです。また、北コースでもスマートフォンを利用したシステムの実験を行っています。こちらは携帯電話でも現在のバスの位置を確認することができます。</p>
委 員	<p>高齢者定期券について、3か月で3,000円というご提案ですが、2か月で1,000円という意見もございました。</p>
委 員	<p>年末試行運行について、29日、30日の2日間ということですが、どうしてこの</p>

発 言 者	発 言 要 旨
	<p>日となりましたか。</p> <p>また、定期券について、安くして欲しい、という要望なのでしょうか。定期券の方の利用回数が割り出せれば回数券という選択肢もあると思います。</p>
事 務 局	<p>平成 23 年度の会議の際に提出した資料の中に、みよし市及び安城市が実施した年末年始運行の結果がございました。その資料によれば、土休日の平均乗車数を上回った日が 29 日、30 日の 2 日であったことから、利用が見込めるものとして候補としました。また、中央線を除く 7 コースで 3 便～9 便とした理由は、通勤通学の利用がないことから中央線以外のコースで朝夕以外の時間で設定しました。</p> <p>定期券につきましては、期間を長くして欲しいという意見を受けての案となっています。</p>
委 員	<p>定期券について、手間の問題ということもありますが、一方紛失の問題もあります。再発行などの対応も必要なのではないでしょうか。</p>
会 長	<p>事務局へ届いている声としては期間を長くして欲しい、ということですが、生活交通部会では料金を安くしては、という意見もございました。また、安いに越したことはないですが、税金を投入する以上適切な価格があるという意見もありました。</p>
委 員	<p>年末運行は試行ということですが、今後の予定はどのようになっていますか。</p>
事 務 局	<p>今年度の結果を踏まえて検討していきたいと考えています。</p>
会 長	<p>利用者が増えれば財政支出が減りますので、年末年始に限らず、通常便も含めて利用者を増やすための方策を考えていく必要があると思います。</p>
委 員	<p>期間が長くなるのであれば、払戻しの規定が必要になると思います。</p>
事 務 局	<p>払戻し等の具体的な方法については今後検討させていただきます。</p>
委 員	<p>民間事業者における定期券とは、ある定まった区間を一定期間の間、高頻度で利用されるということで 1 か月、3 か月、6 か月という期間に応じて割引率をかけて金額を設定しています。しかし、コミュニティバスは 1 乗車 100 円と大変安価な設定で、この高齢者定期券は、区間に関わらず 1 か月 1,000 円で乗れるというものです。これは、既に割引されている料金をさらに割引しているものです。なので、この期間を延長するとしても、既に安くなっている料金は触りようがないのかなと感じます。</p> <p>紛失につきましては、IC カードを導入しましたが、記名式の場合、再発行ができることが最大のメリットとなっています。しかし、無記名であれば再発行はできません。本来、紛失は所有者の責任であり、この高齢者定期券では紛失したことを証明することは困難ですから、これを再発行することは難しいと思います。</p> <p>払戻しについては、法律でも決まりがありますので、規定を設ける必要があります。</p> <p>3 か月定期を作るとなれば、色や地紋を変えたものを用意したほうが良いと思います。また、運転士が発券業務を行う場合、休憩時間中に期限のスタンプを押すなど運転業務以外の作業を行うと、休憩時間の確保が難しくなることで本来の</p>

発 言 者	発 言 要 旨
	<p>運転業務に支障が出ることから、にぎわい交流館に限定していただくことは結構と思います。</p>
委 員	<p>この期間延長はいつから実施するものですか。今日の議決を持って決まるのでしょうか。</p>
会 長	<p>可能であれば24年4月からですが、今回は方針を決めていただくものであり、詳細は今後検討していただくものとしています。</p>
委 員	<p>料金体系については様々な資料を調べて検討をしていただきたいと思います。市民感情としては1か月1,000円のを3か月3,000円ではなかなか納得しにくい部分もあると感じています。しかし、税金の使い道という意味では妥当なのか、という点もありますので、皆が納得していただける案を出していただきたいと思います。</p>
委 員	<p>今回年末の運行をしていただけるということですが、年始についてはどうなりますでしょうか。</p>
事 務 局	<p>利用状況や需要の推移を確認しながら検討させていただきたいと思います。</p>
委 員	<p>運転のできない人でも外出をしたい人は多いので是非お願いします。</p>
委 員	<p>今年度は2日間実施されるということで、一定の成果と捉えています。</p>
会 長	<p>年始運行については継続課題としていく必要があるといえます。</p>
委 員	<p>高齢者定期券の金額について、本来1乗車100円というのは既にかなり安い金額であり、実際の経費としてはもっとかかっているわけですから、これを定期券としてさらに割り引くことで税金の負担が大きくなるわけです。ですから3か月を3,000円より下げるとなると一般の納税者の理解が得られないと思います。</p> <p>通学の高校生・大学生も定期があると、学生はお金がありませんし、その親も収入が増えているわけではないので助かると思います。新しい乗客を増やすという観点からも通学に限って定期を導入しても良いと思います。通勤者は通勤費が支給されることから、200円にしても良いでしょう。こうした点からも料金体系の見直しが必要だと思います。</p>
会 長	<p>日進高校の生徒さんがよく乗車されていると思います。</p>
委 員	<p>日進駅から赤池駅間の運賃が高いため、赤池駅に車で送迎をしている人が多くラッシュ時の渋滞になっていると思います。こうした方にもバスを利用してもらえると良いと思います。</p>
会 長	<p>この点は市の総合的な交通体系の中で決める必要があると思います。今のところ通勤通学を明示的に支える、という体系にはなっていないので、今後の検討課題といえます。また、本来通勤通学といった太い線については民間事業者が担う役割と考えます。</p>
委 員	<p>3か月で3,000円の妥当性について、生活交通部会でも議論があったようですが、金額を半分にすれば収益が倍になるかといえば、利用が増えれば必要経費も増えますので、必ずしも収益が増にはならないわけです。</p> <p>天候による利用者の増減について、学生の場合通常時は自転車の利用が多いと</p>

発 言 者	発 言 要 旨
	<p>と思いますが、雨の日にはバスを利用していただくことになります。そうなるとうるりんばすの小型バスでは乗り切れないことになります。つまり、今後の運行目的によって車体のサイズも考慮する必要があります。</p>
事 務 局	<p>資料として用意した年末運行のチラシについてご意見をお願いします。</p>
委 員	<p>デザインについて色が多すぎてチカチカするのでもう少し見やすくしてください。</p>
委 員	<p>年末ダイヤ、というのを明確にした方が良いと思います。</p>
委 員	<p>字の太さや配置についても工夫してください。</p>
事 務 局	<p>ご意見をいただきました内容について修正を加えます。</p>
会 長	<p>年末年始運行について、年末試行運行を行う件についてご承認いただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>
会 長	<p>ありがとうございます。実施に向けて準備と周知をお願いします。</p> <p>高齢者定期券につきましては、今回料金設定については方向性が明らかになりませんでした。意見としては3か月3,000円で良いのではないかという意見が多かったように思います。今回の議論とあわせて利用実態や補助の状況などを踏まえて再度事務局で検討していただきたいと思います。また、払戻しの規定や定期券のデザインなどについてもご検討いただくとして、3か月定期券を実施する方針についてご承認いただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>
事 務 局	<p>ありがとうございました。本日のご意見を元に検討を進め、次回の会議で料金の取扱要領の改正案を提出させていただく予定としています。</p>
(その他)	
会 長	<p>その他、ございましたらお願いします。</p>
事 務 局	<p>年末試行運行について、多くの皆様にご利用いただけるように、地域の皆様にご周知いただきますようご協力をお願いします。</p>
会 長	<p>以上で終了となります。皆様のご協力に感謝します。</p>
	<p>(閉会 15時40分)</p>